



検索の妙手はどこにあるか。まずは、オンライン統合事典サイトを、徹底的に使いこなすことである。この種のサイトを、目的にあわせて使い分けることが、他人との差別化の鍵となる。

第二話 まずは、事典・辞書サイトへアクセス

検索エンジンを利用する上での鉄則は、「世界中を検索しにいかない」という事である。大学生のほとんどは、グーグル (Google) やヤフー (Yahoo! JAPAN) といった検索エンジンで、検索範囲を限定しない、単純なキーワード検索を行なっている。

これは簡単かつ便利な方法なのであるが、これだけを繰り返すことはお勧めできない。この方法は、検索の手掛かりが見つからない場合に、限定すべきである。この方法だけを繰り返している限り、検索力はアップしないし、必要な情報を入手することは難しい。

キーワードを組み合わせて検索範囲を限定する方法も、世界中を検索しに行くことに変わりない。より巧みな検索方法を身につけるべきである。

その理由は、一言で言えば、権威ある雑誌や新聞から素人のブログまで、得られる情報が種々雑多、玉石混交なためである。

検索の基本原則は、調べたいコンテンツが存在する場所に見当をつけて、その周辺を徹底的に調べることである。開架式の図書館を端から端まで、探し回る人はいない。ネット検索も同じことである。

今回は、「調べたい用語が分かっている」場合に、最初に検索すべきサイトについて、説明する。それは、事典・辞典サイト、もしくは、それに類似したウェブサイトである。これが、最も簡単で便利で、しかも信頼できる方法である。用語についての意味は辞書サイト、事柄については事典サイトであるが、両方の機能を備えているサイトが多い。

ネット上には、様々な事典・辞典サイトがあり、サイトの場所は簡単に調べられる。事典や辞書サイトの多くは、内容が玉石混交でなく、信頼性や正確性に関する情報品質が保証されている点にある。

ただし、調べたい用語について、すべてが記載されているわけではないことに留意する必要がある。少なくとも、複数の事典・辞書サイトを比較し利用する習慣をつけておくべきである。

事典・辞書サイトで、調べたい用語や事柄について調べるメリットは、全体像および関連する用語が、簡単に入手できることである。これを手掛かりにして、次に、より具体的かつ詳細な内容を掲載している専門サイトを調べに行くことが、大切である。

この二段階のアプローチを踏むことが、入手することが難しい情報を、確実にゲットする近道である。まず、事典・辞書サイトをどうみつけるか。まず、グーグルまたはヤフーで、[事典]ま

たは、「事典 辞書」とキーワードを入力して、検索するだけでよい。沢山の事典サイトや辞書サイトが検索される。

細かい事典や辞書を調べたければ、「事典 リンク集」または、「事典 辞書 リンク集」とキーワードを入力すればよい。親切な人達が、様々な事典や辞書サイトへのリンク集を作ってくれている。リンク、リンク集という用語は、重要な検索キーワードである。

さらに、ネット上の事典・辞書サイトを網羅的に知りたければ、**ヤフーのカテゴリー検索**を利用するとよい。カテゴリー検索をするためには、トップページの右上に小さく「カテゴリー一覧」と書かれた箇所をクリックすれば、カテゴリー検索のトップページが得られる。ここで、「事典」もしくは「事典 辞書」とキーワード検索すればよい。

検索される事典・辞書サイトの中で、広く利用されるサイトとしては、**Weblio 辞書、Yahoo! 百科事典、ウィキペディア、kotobank、All about 事典**などがある。

Weblio (ウェブリオ) 辞書は、2006年1月に開設された統合型オンライン辞書であり、登録辞書数は510に及んでいる(2009年6月8日付けプレスリリース)。携帯電話向けにも、Weblioモバイルがある。

Weblio (ウェブリオ) 辞書の便利な点は、複数の事典・辞書の内容を一緒に掲載してくれるので比較参照でき、関連用語もリストアップしてくれる。もちろん、この関連用語の辞書サイトにもリンクが張られている。

たとえば、この9月3日、帝京大病院で発覚した「院内感染」について調べてみよう。

Weblioで検索すると、三省堂の大辞林、法律関連用語集、エイズ関連用語集、ウィキペディアと4つの事典・辞書の用語説明が入手できる。さらに、「メチシリン耐性黄色ブドウ球菌」(生物学用語)、「院内感染対策委員会」(エイズ用語)、「グルタールアルデヒド」(エイズ用語)、「東野結花」(タレントデータベース)など、10の関連用語が紹介されており、各事典にリンクが張られている。

Yahoo!百科事典は、ヤフーが運営するオンラインの百科事典検索サービスであり、2008年11月にベータ版を公開し、スタートしている。百科事典『日本大百科全書(ニッポニカ)』、および時事用語や話題の言葉を中心に収録している。

この百科事典で、同じく「院内感染」を調べてみよう。そうすると、日科全書、大辞泉、プログレッシブ和英中辞典の3つの事典・辞書サイトの内容が掲載されている。上述のWeblio辞書とは、かなり異なっている。

その違いは、下記の関連項目を見れば、一目瞭然である。日本大百科全書の項目(関連項目を含む)としては、「院内感染」の他に、「VRE 院内感染」、「MRSA 感染症」、「結核」、「クリミア-コンゴ出血熱」など、合計13項目の用語について説明が出てくる。

よく利用されている上記の2つのオンライン統合事典サイトを、簡単に比較してみるだけでも、調べられる内容に大きな違いがあることがわかる。どの検索サイトを利用するかまたは併用するかは、日頃から比較検討をしておくことである。常時利用するサイトは、ブックマークに登録しておくと便利である。

ネット上の事典の中で、最もアクセス数が多いのは、なんといっても**ウィキペディア**である。次回、これについて、他人とは一味違う活用方法について紹介したい。

ウィキペディアを利用する人が多いことに起因する最大の問題点は、何であろうか。それは、誰もが同じ情報を、いとも簡単に入手できることである。

他人との差別化が難しいことが、最大の欠点である。「誰もが共有できる情報に価値はない」という情報の基本的問題をクリアするには、どうしたらよいか。次回、この答えを提出したい。